



会社概要

名称	ニホンサンテク株式会社 NIHON SANTEKU Co.,Ltd
所在地	本社・Ma P工房 (Measurement and Processing Atelier) 〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9-40 Tel : 06-6652-5984 Fax : 06-7850-3671
設立	平成2(1990)年4月
創業	平成13(2001)年4月 (大阪Ma P工房として)
資本金	2,500万円
役員	代表取締役 金子 秀樹 取締役 金子 節子 取締役 来島 知恵 監査役 高木 栄治
社員数	9名
取引銀行	三井住友銀行 難波支店 りそな銀行 萩之茶屋支店 尼崎信用金庫 昭和町支店
主な取引先	国公立大学法人、私立大学、独立行政法人、各種研究所 各病院 日本光電工業株式会社、株式会社ミュキ技研、株式会社メッツ、 GEヘルスケア・ジャパン株式会社、竹井機器工業株式会社、 遠藤科学株式会社、宮野医療器株式会社、村中医療器株式会社、 小西医療器株式会社、株式会社増田医科器械、株式会社大黒、 株式会社三笑堂、石黒メディカルシステム株式会社、 株式会社ロジカルプロダクト (順不同、敬称略)
事業内容	脳波・心電図・筋電図等の生体信号計測業 生体信号計測処理システム及びソフトウェアの設計・開発・製造・ 販売 及び、コンサルタント業。計測と解析セミナーの開催。 医療用機器、情報処理機器の販売及びメンテナンス業
許認可	高度管理医療機器等販売業許可番号 第N03404号 日本生体医工学会 (旧日本エムイー学会) 認定 第1種ME技術者 (実力検定 登録番号 195010) 第2種ME技術者 (実力検定 登録番号 2212712)
ホームページ	https://wp.santeku-map.com/
メールアドレス	post@santeku-map.com

●沿革

1980年代より三栄測器(後のNECメディカルシステムズ)のデータ処理装置であるシグナルプロセッサ(7T17/18・DP1100/1200)において、Signal-BASICによる各種アプリケーションソフトの開発、及び、生体信号計測処理システムの販売を行う。2001年より独立し、大学の研究室、官公庁の研究機関、企業の研究部門へPCを利用した生体信号の測定解析を行うシステムの製造・開発・販売を行う。単にソフトウェアやハードウェアの提供を行うだけでなく、コンサルティングを含めた生体信号の計測処理環境の実現をするための道先案内人として事業を展開する。

- | | |
|---------|---|
| 2001年4月 | NECとGEとによる医療機器販売の合弁会社 日本GEマーケットメディカルシステム株式会社の設立に伴い、PCソフトグループ、並びにSBL開発チーム(Signal BASIC Light)により、有限会社MTS社を設立後、大阪MaP工房を設立し創業する。 |
| 2003年7月 | 販売ならび設計開発の強化のため、大阪MaP工房を分離独立しニホンサンテック株式会社 MaP工房として業務を開始する。 |
| 2004年6月 | セミナー会場と研究室として常設のMaP工房を設置
各種セミナーを開始する。 |
| 2012年9月 | 日本生理人類学会 セミナー講師 |
| 2012年9月 | 国立大学法人 九州大学 芸術工学部 非常勤講師 (継続中) |
| 2013年9月 | 日本心理学会 セミナー講師 |
| 2017年9月 | ヒューマンインターフェースシンポジウム2017 講習会講師
人間工学会セミナー講師 |

●主な取扱と品目

- ・ 生体信号計測システム MaP1000/2000 シリーズ
- ・ 各種生体信号用計測機器、各種情報処理機器の販売
- ・ 生体計測と解析の実習セミナーの開催
- ・ 実験・研究における計測から解析のコンサルティング
- ・ 各製品のレンタル・リース
- ・ 生体信号処理ソフトウェア (MP L)
インプットモニタ(IM-SMART) 自律神経解析プログラム(MaP1060) 生体パラメータリアルタイム計測プログラム(MaP1058)
筋電図解析プログラム(MaP1038) 事象関連電位解析プログラム(MaP1200) ほか
- ・ 各種多用途生体アンプ(アナログ・デジタル・マルチチャネル・テレメータ・アクティブ電極)
- ・ 各種科学研究用計測特注プログラム 設計開発・販売
脳神経分野 (各種誘発加算、ERP計測、周波数分析、マップング解析、TMS、etc)
循環動態解析 (Trend、PV-Loop、E-Max、LVP-TC、V-Max、脈波解析 etc)、
筋電図解析 (運動解析、動作解析、MUP解析、積分解析、ブラキシズム解析、
咀嚼リズム解析、H波回復曲線解析、バイオフィードバック、etc)
生理・薬理分野 (Action Potential、尿量計測、神経パルス解析、etc)
その他 (R-Rインターバル解析、1/f解析、伝達関数/コヒーレンス解析、ラムダ波解析、
呼吸ループ解析、眼球運動解析、人間工学生体計測解析
- ・ 画像/画像・音声刺激ソフトウェア (Ez-SOUND、Ez-STIM システム)

●導入実績（2022/10 現在）

【大学・学校】

（北海道）北海道大学、北海道医療大学、札幌医科大学、札幌学院大学、釧路工業高等専門学校

（東北）東北大学、弘前大学、青森県立保健大学、八戸工業大学、盛岡医科大学

（甲信越）新潟大学、新潟医療福祉大学、長岡技術科学大学、信州大学、長野県工科短期大学、山梨大学

（関東）東京大学、電気通信大学、東京農工大学、東京都立大学、東京学芸大学、東京医科歯科大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京理科大学、大正大学、目白大学、実践女子大学、相模女子大学、東京国際大学、国立音楽大学、千葉大学、日本大学、筑波大学、独協医科大学、城西国際大学、前橋工科大学、東京都立産業技術高等専門学校、専修大学、帝京大学

（東海）名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学、福井大学、静岡大学、三重大学、豊橋技術科学大学、愛知淑徳大学、大同工業大学、日本福祉大学

（関西）滋賀大学、龍谷大学、京都大学、京都工芸繊維大学、同志社大学、立命館大学、京都橘大学、大阪大学、大阪教育大学、大阪府立大学、大阪市立大学、大阪公立大学、関西大学、大阪工業大学、大阪歯科大学、大阪医科大学、帝塚山学院大学、大阪体育大学、関西医療大学、関西福祉科学大学、大阪人間科学大学、大阪電気通信大学、摂南大学、大阪河崎リハビリテーション大学、大阪芸術大学、大和大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良医科大学、天理大学、畿央大学、和歌山大学、和歌山医科大学、神戸大学、兵庫県立大学、関西学院大学、兵庫医科大学、武庫川女子大学、甲南女子大学、関西国際大学、神戸芸術工科大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸学院大学、神戸常盤大学、神戸女子大学

（中国・四国）岡山大学、吉備国際大学、就実大学、広島大学、広島市立大学、広島国際大学、山口大学、山口県立大学、島根大学、香川大学、徳島大学、高知大学、高知工科大学、人間環境大学

（九州・沖縄）九州大学、九州歯科大学、産業医科大学、九州産業大学、福岡女学院大学、福岡女子大学、国際医療福祉大学、久留米工業大学、佐賀大学、熊本大学、熊本県立大学、鹿児島大学、鹿児島工業高等専門学校、沖縄科学技術大学院大学、名桜大学

【官公庁・研究機関】

産業技術総合研究所、大阪府立産業技術研究所、国立循環器病センター、国立精神・神経医療研究センター、東京都医学総合研究所、科学警察研究所、情報通信研究機構(NICT)、福井県工業技術センター、兵庫県立工業技術センター、大阪市立総合医療センター、大阪精神医療センター、獣医病院病理研究会、愛徳医療福祉センター、愛媛県立子ども療育センター、航空自衛隊、海上自衛隊、労働安全衛生総合研究所

【企業】

三菱電機株式会社、パナソニック株式会社、コクヨ株式会社、武田薬品工業株式会社、サントリー株式会社、東洋紡株式会社、グンゼ株式会社、ワコール株式会社、大和ハウス工業株式会社、積水ハウス株式会社、アップリカ葛西株式会社、日野自動車株式会社、デンソー株式会社、テイ・エステック株式会社、ダイキン工業株式会社、ヤンマー株式会社、東映株式会社、株式会社フジテレビジョン、株式会社イトーキ、富士ゼロックス株式会社、株式会社オーテックジャパン、東レエンジニアリング株式会社、三栄源エフ・エフ・アイ株式会社、アルインコ株式会社、アステラス製薬株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

【医療機関】

青森県立中央病院、大崎市民病院、石巻赤十字病院、いわき病院、茨城県立医療センター、松本医療センター、信州上田医療センター、朝日ながの病院、国立がん研究センター、愛徳医療福祉センター、三重中央医療センター、大津市民病院、伏見桃山総合病院、守口敬仁会病院、堺市立総合医療センター、和泉市立病院、りんくう総合医療センター、ペガサス馬場記念病院、姫路赤十字病院、広島総合病院

【海外】

Monash University(オーストラリア)、Cerbos Pacific Ltd. (シンガポール)
Universiti Putra Malaysia(マレーシア)

(順不同、敬称略)

以上